

県央広域圏交流茶話会 報告

会員：石川麗子

期 日 11月24日(木)

場 所 北上飯豊地区交流センター

参加者 16名

在宅の障がい児者の家族 5名

行政及び関連機関の方々 6名

(花巻市障がい福祉課、北上市障がい福祉課、花巻市相談支援専門員 奥州市事業所)

守る会役員 5名

話 題 ①子どもの将来への不安

グループホームでの生活のイメージがまだついていない

ショートステイの利用になかなか踏み切れない

②現在の生活について

子どもが大きくなり年々介護が大変になってきている

子どもの成長に伴い家をバリアフリーにする際の補助について知りたい

③緊急時の避難所が分からない



参加して下さったのは、花巻北上地区で在宅児者の豊かな生活を目指して活動を頑張っている「ぼっぼの会」の皆さん、花巻・北上の障害福祉課の方々、奥州・北上の事業所の方です。

自己紹介ではそれぞれの生活の様子と想いを話してもらいました。

お子さんの成長に伴い移動や入浴が大変になり引っ越しを考えている話や卒業後の進路の不安、学校との連携の難しさ、母親の就労など様々な話がありました。

続いての懇談では、当会会員からグループホームやショートステイの経験談をお話しし、また行政から緊急時の個別支援計画を作成する予定であることや福祉避難所の設置状況、家庭用電源の貸出などの情報提供がありました。

他にもこの地区で医療的ケア児者支援のために行政が進める予定の会議等を教えてもらい、今後に希望をもてる内容でした。

来年岩手で開催される東北大会でも緊急時の支援についてメインで取り上げる予定です。

今後も行政・関連機関の方々と両輪となり子ども達を守りたいものです。

参加したお母さんからの「毎日の生活が当たり前になっていて、困りごとに気が付かないが、助けてもらって良いと感じられた」という感想に一同大ききうなずいて閉会となりました。